

敬語を正しく使い分けよう〈解答〉

解答

敬語の誤りを直す

問1

先生が先ほど【申しました】。

【 答え おっしゃいました 】

補足：動作主が先生なので、「言う」の尊敬語を使います。「言われました」も尊敬の意味が明確であれば正解とします。

問2

私は先生の作品を【ご覧になりました】。

【 答え 拝見しました 】

補足：動作主が自分なので、「見る」の謙譲語「拝見する」を使います。

問3

先生はその資料を【拝見しました】。

【 答え ご覧になりました 】

補足：動作主が先生なので、「見る」の尊敬語を使います。「見られました」も尊敬の意味が明確であれば正解とします。

会話に合う敬語を選ぶ

問4

生徒会の係が担任の先生に、来校した講師がもう帰ったかを尋ねます。

ア 講師の先生はもうお帰りになりましたか イ 講師の先生はもう参りましたか ウ 講師の先生はもう伺いましたか

【 答え ア 】

補足：講師の先生の「帰る」という動作を高める尊敬語「お帰りになる」を使います。

問5

生徒が先生に、自分が校長先生へ作品を見せる予定を伝えます。

ア 校長先生に作品をお見せします イ 校長先生が作品をご覧になります ウ 校長先生に作品を拝見します

【 答え ア 】

補足：自分が校長先生に作品を見せる動作をへりくだって表す「お見せします」が適切です。

問6

生徒が先生に、自分が校長先生へ資料を渡したことを伝えます。

ア 校長先生に資料をお渡ししました イ 校長先生が資料をお渡しになりました ウ 校長先生に資料をいただきました

【 答え ア 】

補足：自分が校長先生に資料を渡す動作をへりくだって表す「お渡ししました」が適切です。

敬語を組み合わせる

問7

先生はすぐに【お帰りになり】【ます】。

【 答え お帰りになり＝尊敬語、ます＝丁寧語 】

補足：先生の「帰る」を高める「お帰りになる」は尊敬語で、「ます」は聞き手に対する丁寧語です。

問8

私は先生の資料を【拝見し】【ます】。

【 答え 拝見し＝謙譲語、ます＝丁寧語 】

補足：自分の「見る」を低める「拝見する」は謙譲語で、「ます」は丁寧語です。